

# 菓子食品新報

発行所 菓子食品新報社  
東京都中央区東區(丸の内)の23の6  
電話(03)397-1514(代電)  
〒A(03)397-1514  
編集発行兼印刷人  
松本 幹  
購読料  
1年80,000円(郵送料共)  
郵中込は前金で願います

## 包装の合理化に取り組む 東洋包材株式会社

★フィルム

☎(03)三三九二一八五七(代)

### 丸京 鳥取県米子の公園名まで

#### どらやきのPR、来年早番に合格ものも

鳥取県米子市から首都圏や全国に広い販路を持つ半生菓子産メーカーの「丸京製菓(株)」では、生産量世界一の『どらやき』を地元米子の名物にしようと今年六月に「どらやきのまち米子」を宣言、そのプロジェクト一環として米子市が募集した市営東山運動公園のネーミングライツ(命名権)を取得、公園名を『どらドラパーク米子』とし、十一月五日に米子市の野坂市長と丸京の鷺見社長との間で契約書を交換、引続き同公園の入口で地元の幼稚園児らとともにその看板の除幕式を行った(写真)。

同社の本社工場は単一工場として年間一億三、〇〇〇万个の世界一の生産力を持つが、これをさらに三億個製造へ目指すというもので、そうなるに確かに米子は世界一の『どらやき』の街となる。国

内ばかりでなく、既にアメリカ、中国、韓国、オーストラリア、ヨーロッパにも輸出されており「世界が『どらやき』を食べ始めている」とか。

なお同社では、四月四日を



四合わせ(しあわせ)の日として日本記念日協会に「どらやきの日」の認定を申請していたところ八月30日に正式登録されたので、今後毎年四月4日は「どらやきの日」に決まった。

また、その『どらやき』で来年一月から三月の受験シーズンに向けて縁起物も出す。その名も『合格どらやき』とし、製品表面に「合格」の二字を焼印、トレイに個包装5個入りで袋の上部にも「合格」の文字を大きく置いた袋もの(小売価格360円)と同じく「合格」焼印の二個売り(同60円)の二種があり、2009年一月6日より出荷へ。